

2020年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社cotta (旧会社名 株式会社タイセイ)

上場取引所 東 福

コード番号 3359 URL <https://www.cotta.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒須 綾希子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 野村 弘

TEL 0972-85-0117

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,975	19.0	444	32.1	470	29.1	323	29.8
2019年9月期第3四半期	5,022	1.5	336	1.4	364	2.6	249	3.0

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 323百万円 (29.8%) 2019年9月期第3四半期 249百万円 (3.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	29.80	29.52
2019年9月期第3四半期	22.98	22.75

(注) 1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第3四半期	4,930	3,001	60.6	274.97
2019年9月期	4,503	2,721	60.2	249.37

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 2,989百万円 2019年9月期 2,709百万円

(注) 1株当たり純資産の算出にあたり、期末自己株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		4.00	4.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,454	16.5	188	40.5	214	38.7	135	40.2	12.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1株当たり当期純利益の算出にあたり、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	11,043,513 株	2019年9月期	11,037,513 株
期末自己株式数	2020年9月期3Q	170,584 株	2019年9月期	173,384 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	10,867,237 株	2019年9月期3Q	10,859,733 株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託制度の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので、この数字に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年10月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向から一転、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、景気の後退を余儀なくされ、自粛と緩和の狭間で、日本経済は非常に厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの主要事業である菓子・パン資材および雑貨等の販売事業の業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛要請を受けて、B to B向けはその影響を受けたものの、「巣ごもり消費」の影響で、お菓子、パンを自宅で作る需要が急増したため、B to C向けの販売は大変順調に推移いたしました。5月よりスタートした「手作りパンキット」を1万世帯に無料でプレゼントするキャンペーンが各メディアにも取りあげられ「cotta」ブランドの知名度も向上いたしました。さらに2019年6月に開設したB to B向け専用サイト「cotta business」経由で、喫茶店および飲食店といった、今までにない外食関連の事業者からの新規受注も増えております。また連結子会社の株式会社ヒラカワにおきましても、「巣ごもり消費」の拡大に伴い、主要な取引先である生協グループへの販売について堅調に推移いたしました。

上記の状況から、当第3四半期会計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)における売上高について、通販部門が前年同四半期と比較して約170%を記録するなど順調に推移いたしました。一方では、想定以上の注文増加に対応すべく、前連結会計年度に設置した物流拠点(新潟県見附市)からの出荷業務に加え、当社本社(大分県津久見市)の出荷体制を昼・夜の2部制にし、出荷量の増強を図っております。

次に、各利益につきましては、すべて増益となりました。第2四半期連結累計期間(2019年10月1日～2020年3月31日)までは、消費増税による販売苦戦での固定費の負担増ならびにバレンタイン商戦でのテレビCM費用および運賃などの販売費の負担増などにより、前年同四半期と比較して減益を余儀なくされておりました。しかしながら、4月以降、「巣ごもり消費」の拡大の影響を受け、売上高が急増したことで、人件費および運賃などの販売費及び一般管理費の増加を上回って利益が増加いたしました。

以上の結果、売上高5,975,825千円(前年同四半期比19.0%増)、営業利益444,505千円(同32.1%増)、経常利益470,920千円(同29.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益323,802千円(同29.8%増)となりました。

なお、当社グループは、菓子・パン資材および雑貨等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

また、前第4四半期連結会計期間よりセグメントの名称を変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,930,111千円となり、前連結会計年度末と比べ426,236千円増加しました。これは、主に、出荷量の増加によりたな卸資産が減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより現金及び預金が増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,928,557千円となり、前連結会計年度末と比べ145,813千円増加しました。これは、主に、借入金の返済により長期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金、未払金および未払消費税等が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、3,001,553千円となり、前連結会計年度末と比べ280,422千円増加しました。これは、主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、上記のとおり順調に推移しており、通期連結業績予想に対する達成率は、営業利益235.3%、経常利益219.4%および親会社株主に帰属する当期純利益239.8%であり、予想数値を大幅に超過している状況です。

しかしながら、2020年8月5日に公表しました「テレビコマーシャル放映に関するお知らせ」のとおり、第4四半期連結会計期間(9月)において、関東地区を中心とした大規模なテレビコマーシャルを放映する予定であります。さらに、総合カタログの発刊も予定しており、2020年3月13日に公表した「中期経営計画(2020-2024)」の最終年度(2024年9月期)の目標数値(売上高11,142百万円、営業利益995百万円、経常利益1,020百万円)達成に向けて、広告宣伝活動を積極的に行う予定であります。

以上により、2020年9月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年6月26日に公表した業績予想の修正のとおりであり、修正が必要な場合には速やかに開示いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症により、当社グループにおける事業活動に重大な支障は生じておりません。また、当社グループ内での拡大防止策としましては、検温の実施と定期的な社内消毒ならびに一部社員について在宅勤務を行っており、引き続き、感染症拡大防止に努めております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,352,253	1,749,704
受取手形及び売掛金	303,351	343,535
たな卸資産	1,142,178	1,061,892
その他	200,347	269,148
貸倒引当金	△11,700	△12,190
流動資産合計	2,986,431	3,412,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	780,982	767,572
土地	392,744	392,744
その他(純額)	142,767	144,345
有形固定資産合計	1,316,494	1,304,662
無形固定資産	92,259	86,319
投資その他の資産	108,688	127,037
固定資産合計	1,517,442	1,518,019
資産合計	4,503,874	4,930,111
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	451,642	509,259
短期借入金	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	84,204	84,212
未払法人税等	66,764	100,683
賞与引当金	32,041	8,322
ポイント引当金	11,667	15,759
その他	225,046	374,349
流動負債合計	941,366	1,162,587
固定負債		
長期借入金	755,009	691,848
株式給付引当金	12,902	13,789
退職給付に係る負債	2,920	3,279
資産除去債務	5,587	—
その他	64,958	57,054
固定負債合計	841,378	765,970
負債合計	1,782,744	1,928,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	642,453	642,660
資本剰余金	615,621	615,828
利益剰余金	1,480,078	1,759,732
自己株式	△28,970	△28,465
株主資本合計	2,709,182	2,989,755
新株予約権	11,947	11,797
純資産合計	2,721,130	3,001,553
負債純資産合計	4,503,874	4,930,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,022,109	5,975,825
売上原価	3,019,883	3,481,402
売上総利益	2,002,226	2,494,422
販売費及び一般管理費	1,665,852	2,049,917
営業利益	336,373	444,505
営業外収益		
受取利息及び配当金	78	63
協賛金収入	27,817	25,828
電力販売収益	4,678	6,955
その他	6,428	3,114
営業外収益合計	39,003	35,961
営業外費用		
支払利息	5,694	5,831
電力販売費用	3,096	2,750
その他	1,797	964
営業外費用合計	10,588	9,546
経常利益	364,788	470,920
特別利益		
固定資産売却益	231	1,174
投資有価証券売却益	—	2,000
受取補償金	—	2,700
資産除去債務戻入益	—	4,342
特別利益合計	231	10,216
特別損失		
固定資産除却損	3,000	1,635
たな卸資産廃棄損	—	2,700
特別損失合計	3,000	4,335
税金等調整前四半期純利益	362,019	476,800
法人税、住民税及び事業税	111,051	157,231
法人税等調整額	1,460	△4,232
法人税等合計	112,511	152,998
四半期純利益	249,508	323,802
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	249,508	323,802

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	249,508	323,802
四半期包括利益	249,508	323,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249,508	323,802
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

当社グループは、菓子・弁当関連の包装資材および食材ならびに陶器等を含む生活用雑貨等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

当社グループは、菓子・パン資材および雑貨等の販売事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

なお、前第4四半期連結会計期間より、従来の「菓子・弁当関連の包装資材および食材ならびに陶器等を含む生活用雑貨等の販売事業」は「菓子・パン資材および雑貨等の販売事業」にセグメント名称を変更しております。

当該セグメント名称変更によるセグメント情報等に与える影響はありません。